

理事長就任のご挨拶

慶應義塾大学医学部形成外科学教室 貴志 和生

この度、平成27年12月より日本創傷治癒学会理事長を拝命しました。大変光栄に思いますとともに、まさに身の引き締まる思いであります。

日本創傷治癒学会は、ご存知のように昭和46年に創傷治癒研究会として発足し、平成12年に日本創傷治癒学会、平成25年1月に一般社団法人日本創傷治癒学会となり、現在に至ります。創傷治癒を主なテーマとして扱う学会としては、日本で最も歴史のある学会であります。創傷治癒は、傷を治すという体に備わった、いわば当たり前の生理現象を解明する学問です。しかし、病態によっては、傷がなかなか治らなくなったり、ケロイドや肥厚性瘢痕、瘢痕拘縮で象徴されるような、通常の傷跡より目立つ瘢痕を残したりと、QOLを悪くし、また時には生命にも関わる事態となります。また、「治癒」の逆は「再生」であります。通常臓器に傷ができると、線維化や瘢痕を伴って「治癒」しますが、整容的、機能的に見た時には、イモリが失った手足を全くもどおりの状態に「再生」させることができるようにできれば理想的です。今でこそ再生医療が大変注目されていますが、再生の研究も創傷治癒分野で永らく研究されてきました。このように、創傷治癒は生命現象を担う生理現象の大きな柱の一つであり、メカニズムの違いはあれ皮膚だけではなく、ほぼすべての臓器の損傷後に起こる現象ですので、外科系診療科はもちろんのこと、創傷治癒に無関係な診療科は皆無であると考えております。

私自身は、形成外科医であります。私が形成外科の研修を始めた頃の形成外科は、手術が中心で、名誉会員の塩谷信幸先生、理事の鈴木茂彦先生らのすばらしい研究を除いては、研究は端に追いやられている状態でした。しかし、結果が表に現れる形成外科手術では、いかに素晴らしい手術を行ったとしても、瘢痕を跡形なく消し去ることはできず、それはちょうど完璧な芸術作品に少しの傷ができると、そこがクローズアップされて見えてしまうのと同じようなものです。これは、手術手技ではどうすることもできず、新たな研究が必要とされる分野でありました。当時、私が故大谷吉秀先生らのご指導の下、外科研修をしていた時の抄読会で出会ったのが、現在も私がライフワークとしている fetal wound healing の論文で、これはまさに皮膚の完全再生の話です。その後すぐその研究にのめりこみ、当時の創傷治癒研究会にも入会しました。以来、創傷治癒や再生の不思議と、その研究に関われることの喜びと感謝で仕事を続けてまいりました。日本創傷治癒学会で様々な方々にお会いして、創傷治癒に関するお話をしていると、少年・少女のような目をして熱く語っている皆様の姿にしばしば遭遇しました。創傷



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2016.3
No.92

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

URL : <http://www.jswh.com>

治癒学会に参加している会員の方々も、皆、創傷治癒の研究を愛しているのだなと感じた次第であります。理事の吉田昌先生と会員の皆様が、大変なご苦勞をされて4月に発刊に至りました「創傷治癒コンセンサスドキュメント」も、そのような創傷治癒愛で満ち溢れています。

創傷治癒に関する学会が、数多く設立される昨

今、私にできることは、この伝統ある学会で、創傷治癒を真摯に研究する人々が、自由闊達な議論ができ、純粋に学問を追い求めることができる環境を維持し、いい形で発展させてゆくことだと思います。

今後とも本学会への温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

一般社団法人 日本創傷治癒学会 役員紹介

2015年11月30日開催の平成28年度社員総会(評議員会)における決議を経て、以下の役員(敬称略・五十音順)が学会のさらなる発展のために尽力することとなりました。

会員の皆様にはますますのご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- 名誉理事長 北島 政樹 (国際医療福祉大学 学長)
- 徳永 昭 (日本医科大学 名誉教授)
- 理事長 貴志 和生 (慶應義塾大学医学部 形成外科学教室)
- 理事 赤坂 喜清 (東邦大学大学院医学研究科先端医学研究センター 組織修復・病態制御学部門)
- 市岡 滋 (埼玉医科大学 形成外科)
- 木山 輝郎 (朝霞台中央総合病院 外科)
- 真田 弘美 (東京大大学院医学系研究科 老年看護学/創傷看護学分野)
- 須釜 淳子 (金沢大学医薬保健研究域 保健学系臨床実践看護学講座)
- 鈴木 茂彦 (京都大学大学院医学系研究科 形成外科)
- 館 正弘 (東北大学医学系研究科 形成外科)
- 宮澤 光男 (埼玉医科大学国際医療センター 消化器病センター)
- 宮本 正章 (日本医科大学付属病院 循環器内科・高気圧酸素治療室)
- 吉田 昌 (国際医療福祉大学病院 外科)
- 和田 則仁 (慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科)
- 監事 北川 雄光 (慶應義塾大学医学部 外科学教室)
- 北野 正剛 (大分大学 学長)
- 百束 比古 (東京血管外科クリニック)
- 吉村 陽子 (藤田保健衛生大学医学部 形成外科)
- 事務局幹事 荒牧 典子 (慶應義塾大学医学部 形成外科学教室)

平成28年度 評議員(68名)

【敬称略・五十音順】

赤坂喜清、秋田定伯、秋野公造、荒牧典子、石田裕子、磯貝典孝、市岡 滋、井上 聡、
井上 肇、猪股雅史、上田和毅、大島秀男、大慈弥裕之、大西 清、大野真司、岡部圭介、
小川 郁、小川 令、加藤広行、菅野恵美、貴志和生、北川雄光、北野正剛、木山輝郎、
清川兼輔、楠本健司、窪地 淳、桑野博行、近藤稔和、紺家千津子、雑賀司珠也、
佐藤道夫、佐野仁美、真田弘美、島田光生、白石憲男、調 憲、須釜淳子、鈴木茂彦、
高木 元、高見佳宏、武田 啓、武田利明、竹之下誠一、館 正弘、田中秀子、田中里佳、
田畑泰彦、塚田邦夫、寺師浩人、土佐泰祥、仲上豪二郎、中谷壽男、中村哲也、西本 聡、
百束比古、松尾淳子、松崎恭一、松村 一、水野博司、峰松健夫、宮澤光男、宮本正章、
守永圭吾、森本尚樹、吉田 昌、吉村陽子、和田則仁
以上
